サポート情報記事

ポリシーキャンペーンの対象者を設定する方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

候補者の範囲を選択する 4

属性で絞り込む 4

除外を適用する 5

論理的な意味を明確にしてルールを作る 5

個別の例外を意識して使う 6

除外の根拠となるディレクトリデータを確認する 6

再計算して確認する 7

割り当てを開始する前に、キャンペーンウィザードで対象者を設定します。対象者への所属は誰がキャンペーンを受け取るかを選択するもので、ポリシーソースへのアクセスを付与したり製品ロールの代わりになったりするものではありません。

候補者の範囲を選択する

Microsoft Entra IDグループを追加するまたは**SharePointグループを追加する**でグループを含めます。複数のグループは結合され、重複したユーザーは除かれます。SharePointグループはポリシーハブサイトで解決され、ディレクトリユーザーと照合されます。

ディレクトリの候補は、有効な`Member`アカウントです。この検索にはゲストアカウントは含まれません。Entraグループのメンバーシップには、入れ子になったグループ経由のメンバーも含まれます。

個別の従業員...を選択して個別ユーザーの選択欄を表示し、**この人たちを追加**で指定した従業員を含めます。グループも属性ルールもない場合、空でない個別一覧によって候補者はそのユーザーに限定されます。グループがなく属性ルールがある場合は、ディレクトリユーザーに対してルールが評価され、指定したユーザーは属性照合の例外として追加されます。

警告

グループ、個別ユーザー、属性ルールがすべて空の場合、起点となる範囲はすべてのディレクトリユーザーです。自動除外と明示的な除外は引き続き適用されます。開始する前にプレビューを確認してください。

属性で絞り込む

条件を追加するを選択し、**部署**、**役職**、**国**、**オフィス**、**会社**、**従業員の種類**から選びます。値はコンマで区切って入力します。

条件	照合の動作
等しい	属性が指定した値のいずれかと一致します。
等しくない	属性が指定したどの値とも一致しませ

条件	照合の動作
	ん。
を含む	属性が指定した値を少なくとも一つ含みます。

照合は大文字と小文字を区別しません。別々の条件行はANDで結合されます。空でない値が一つもない条件は、対象者を制限しません。個別に追加したユーザーは属性条件を通過しますが、除外処理は引き続き適用されます。



グループ、条件、除外の組み合わせ

除外を適用する

Microsoft 365 ライセンスのないアカウントと**この人たちを除外する**を使用します。

明示的な除外は個別の追加より優先されます。個別に追加した従業員も、ライセンスや上司がないというルールで除外される場合があります。対象者が見つからない場合は、その人を再追加する前に、これらのルールとディレクトリのプロフィールを確認してください。

論理的な意味を明確にしてルールを作る

別々の属性行はANDで結合され、等値条件の同じ行に複数の値を置くと代替候補になります。たとえば、同じ部門条件にFinanceとOperationsを入れると、どちらかの部門を選択できます。さらにその国にも一致する必要がある場合は、別の国条件を追加します。互いに両立しない部門値を別々の等値条件行にすると、同じアカウントに両方への一致を要求し、結果が空になる場合があります。

グループ選択が候補者を提供し、属性行がその候補を絞り込みます。複数グループを選択した場合、そのいずれかの所属で人を含めることができ、重複アカウントは除かれます。部門条件を指定しても、同じ部門であるというだけで選択候補グループの外の人を取得することはありません。

グループを選ばず属性ルールがある場合、開始時の集団は広がり、適格なディレクトリユーザーに対してルールを評価します。組織全体の部門キャンペーンに便利ですが、小さく見えるルール変更が大人数に影響する場合もあります。開始前に、得られた部門と人数を確認します。

個別の例外を意識して使う

財務のキャンペーンに、別部門の特定のレビュー担当者も必要だとします。その人を個別追加すると、適格なディレクトリ候補で除外されていなければ、部門条件を迂回できます。明示的な除外や有効な自動除外は迂回しません。レビュー担当者が含める対象と除外対象の両方にある場合、除外が優先されます。

特定の人だけの試験では、グループと属性ルールを空にし、個人リストを空でない状態にします。最後の個人を削除しても、空になった設定が空の試験対象を意味すると考えないでください。選択入力がすべて空なら、開始集団は除外前のディレクトリ集団になります。

空の属性値も同様に慎重に扱います。利用できる値がないルール行は選択を絞り込みません。特にキャンペーン設定のコピーや改訂後は、プレビューを承認する前に、選んだ属性と入力値の両方を調べます。

除外の根拠となるディレクトリデータを確認する

対象者のライセンスフラグは、ディレクトリ応答に割り当て済みライセンスがあるかで決まります。ライセンスなし除外はこのフラグを使います。特定の製品プランのテストでも、その人が職務に必要なすべての利用資格を持つ証明でもありません。この対象者の動作は、Policy　Adminの広く一致するライセンスユーザーの

ロールオプションとは別です。

マネージャーなし除外はディレクトリのマネージャー情報を使います。マネージャーの欠落は、従業員にポリシーを一切渡さないという業務判断ではなく、不完全なプロフィールデータの場合があります。キャンペーン全体で除外を無効にする前に、ディレクトリ所有者とこの違いを明確にします。プレビューで得られた集団を確認し、実際のソースアクセスは独立して検証します。

再計算して確認する

再計算するを選択し、総数、部門別内訳、除外、確認済み件数を確認します。属性が一致しないユーザーは、自動除外として数えられるのではなく、フィルターで除かれます。確認済み件数は参考情報です。開始時には同じバージョンの他の免除されていない割り当てもスキップされるため、プレビューの総数と同数の新しい割り当てが作られるとは限りません。

対象者を確認したら、KB10503. Policy Acknowledgementのキャンペーンを作成・開始する方法の説明に従って期限設定と開始に進みます。